

# 教育に関する事務の管理及び 執行状況の点検・評価報告

【対象年度：令和5年度】

令和6年8月  
美里町教育委員会

## 目 次

はじめに	1
1 教育委員会の概要等	
(1) 教育委員会の職務	2
(2) 教育委員会の事務	3
(3) 教育委員会組織	4
(4) 教育委員会関連経費	5
(5) 教育委員会の会議運営状況	6
2 点検・評価の対象と方法	7
3 点検・評価	9
4 点検・評価に対する教育委員会評価委員会からの意見	22
おわりに	24

## はじめに

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第26条の規定に基づき、教育委員会が毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないことになっています。

教育委員会の自己点検・自己評価の目的は、合議体の教育委員会が自らの活動のほか、教育長及び教育委員会事務局が執行している教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行うことで、町民への説明責任を果たすことにあります。

また、自己点検・自己評価を行い、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行についての課題を捉え、解決につなげるよう努めることにより、公正かつ適正な教育行政の一層の推進を図るものであります。

## 1 教育委員会の概要等

### (1) 教育委員会の職務

教育委員会の職務は、地方自治法第180条の8の規定により、学校その他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱及び教育職員の身分取扱に関する事務を行い、並びに社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を管理し及びこれを執行することです。教育委員会の職務権限の行使は、地教行法第14条の規定により、合議体である教育委員会の会議の決定により行われます。

教育委員会は、教育長及び4人の委員をもって組織します。教育長は、任期が3年で町長が町長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもののうちから議会の同意を得て任命します。

委員は、定数が4人で、任期は4年です。町長が町長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから議会の同意を得て任命します。町長が委員を任命するに当っては、①委員定数に1を加えた数の2分の1以上の者が同一の政党に所属することになってはならないこと、②委員の年齢、性別、職業等に著しい偏りが生じないように配慮すること、③委員のうちに保護者である者が含まれるようにしなければならないことが規定されています。

教育長の職務を規定する「教育委員会の会務を総理」するとは、「教育委員会の会議を主宰」すること、「教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどる」こと、及び「事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督する」ことを意味しています。教育長は、執行機関である教育委員会の補助機関ではなく、教育委員会の構成員であり、代表者であることから、教育委員会による教育長への指揮監督権は法律上規定されておりませんが、教育委員会は引き続き合議体の執行機関であるため、教育長は教育委員会の意思決定に基づき事務をつかさどる立場にあることに変わりはなく、教育委員会の意思決定に反する事務執行を行うことはできないものとされています。

### 美里町教育委員会教育長・委員名簿

職	氏名	任期	備考
教育長	大友 義孝	令和6年2月20日～令和9年2月19日	3期
委員 (職務代理者)	留守 広行	令和5年2月20日～令和9年2月19日	3期
委員	佐藤 キヨ	令和3年2月20日～令和7年2月19日	1期
委員	大森 真智子	令和6年2月20日～令和10年2月19日	2期
委員	佐々木 忠夫	令和4年4月1日～令和8年3月31日	1期

## (2) 教育委員会の事務

教育委員会は、地教行法第21条に基づき、教育に関する事務を管理執行しており、その職務権限は、同条に規定されています。その内容は、学校教育、社会教育、スポーツ、文化、文化財の保護等多岐にわたる事務を行うものであり、その対象は子供から大人までと幅広いものです。本町においては、スポーツに関すること（学校における体育に関することを除く。）及び文化に関すること（文化財の保護に関することを除く。）を地教行法第23条の規定に基づき、町長が管理・執行しています。

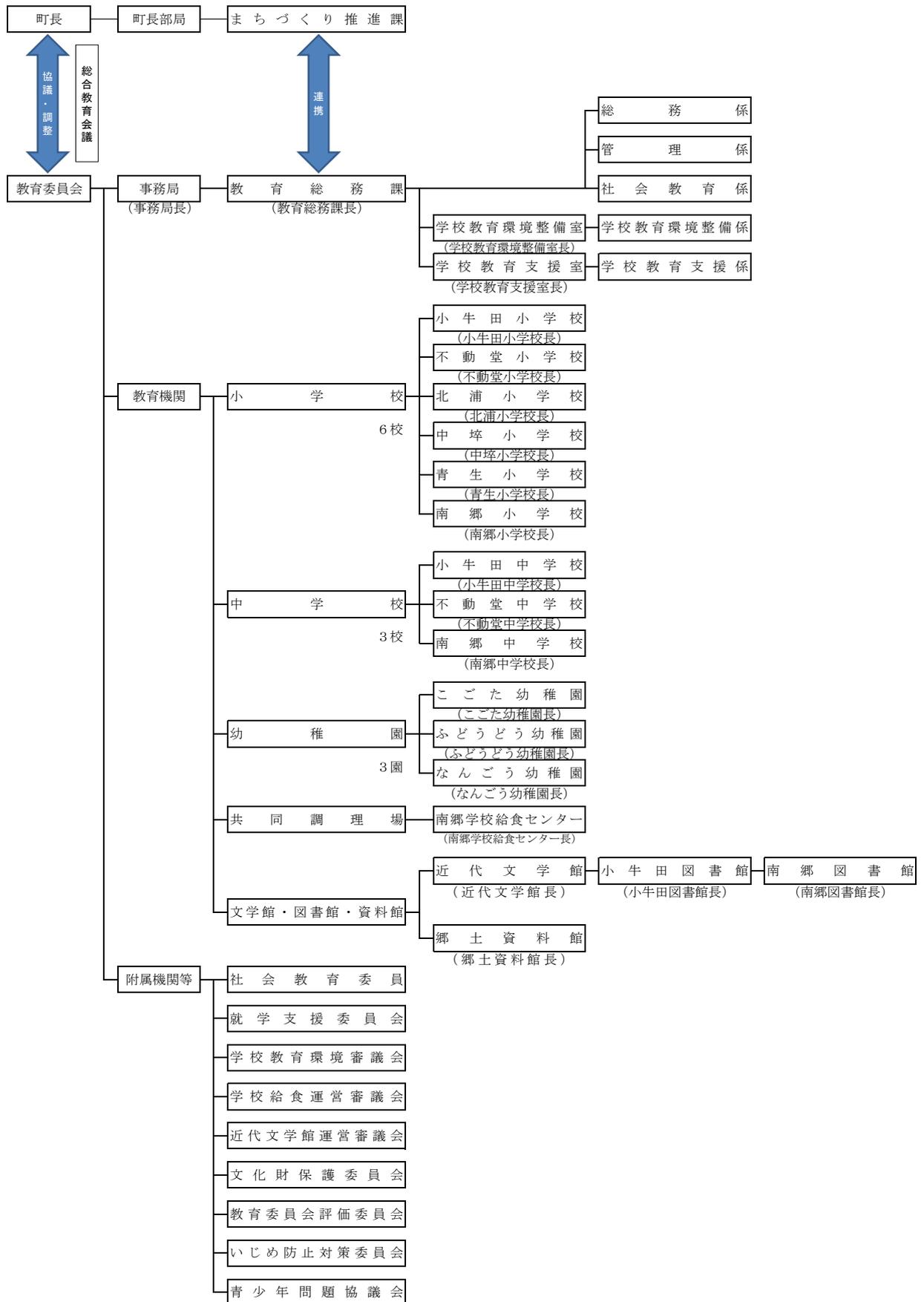
また、美里町長の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則第2条の規定に基づき、町長の権限に属する事務のうち次に掲げる5つの事務が教育委員会に委任されています。

- ・ 美里町立幼稚園預かり保育料等徴収条例の規定による預かり保育料等の減免に関すること。
- ・ 美里町学校給食費に関する条例の規定による給食費の額の決定及び減額に関すること。
- ・ 教育財産の使用料の減免に関すること。
- ・ 美里町奨学資金貸付条例で定める事項に関すること。
- ・ 美里町環境教育基金条例で定める事項に関すること。

地教行法第25条第1項の規定に基づき、教育委員会はその権限に属する事務の一部を教育長に委任しており、又は臨時に執行する必要がある場合は教育長をして臨時に代理しています。

### (3) 教育委員会組織

令和6年4月1日現在



#### (4) 教育委員会関連経費

令和5年度 一般会計決算 (歳出10款教育費)

(10款 教育費については、5項4目の文化会館費、6項1目の保健体育総務費の一部、6項2目の体育施設費を町長部局で執行していることから、記載から除いています。災害復旧費については令和5年度の執行はありませんでした。)

単位：円

款 項 目	令和5年度 決算額 A	令和4年度 決算額 B	前年度対比 A-B
10 教育費	1,546,928,840	1,646,298,939	▲ 99,370,099
1 教育総務費	230,760,726	228,270,813	2,489,913
1 教育委員会費	2,523,600	2,376,195	147,405
2 事務局費	228,237,126	225,894,618	2,342,508
2 小学校費	204,492,620	191,808,252	12,684,368
1 学校管理費	131,992,649	114,943,363	17,049,286
2 教育振興費	72,133,455	69,946,975	2,186,480
3 新型コロナウイルス感染症対策費	366,516	6,917,914	▲ 6,551,398
3 中学校費	262,138,756	359,503,684	▲ 97,364,928
1 学校管理費	68,248,633	79,089,767	▲ 10,841,134
2 教育振興費	30,691,750	28,022,093	2,669,657
3 学校建設費	163,022,885	248,669,929	▲ 85,647,044
4 新型コロナウイルス感染症対策費	175,488	3,721,895	▲ 3,546,407
4 幼稚園費	327,312,209	308,619,872	18,692,337
1 幼稚園費	325,836,262	307,131,177	18,705,085
2 新型コロナウイルス感染症対策費	1,475,947	1,488,695	▲ 12,748
5 社会教育費	119,761,326	119,848,219	▲ 86,893
1 社会教育総務費	10,118,196	9,358,792	759,404
2 文化財保護費	14,542,065	13,894,486	647,579
3 図書館費	62,615,072	64,030,178	▲ 1,415,106
6 保健体育費	402,463,203	438,248,099	▲ 35,784,896
1 保健体育総務費	408,119	444,901	▲ 36,782
3 学校給食費	277,119,619	280,395,903	▲ 3,276,284
4 新型コロナウイルス感染症対策費	0	27,350,530	▲ 27,350,530
13 災害復旧費	0	18,082,900	▲ 18,082,900
3 文教施設災害復旧費	0	18,082,900	▲ 18,082,900
1 公立学校施設災害復旧費	0	11,592,900	▲ 11,592,900
3 社会教育施設災害復旧費	0	330,000	▲ 330,000

(5) 教育委員会の会議運営状況

No.	開催月日	区分	出席 委員	報告	審議	協議	その他	傍聴者	備考
1	4月20日	臨時	5		3				
2	4月28日	定例	5	10	5	2	3	2	
3	5月26日	定例	5	7	1	2	4	1	
4	6月29日	定例	5	7	2	5	3	2	
5	7月27日	定例	5	7	1	2	3	1	
6	8月7日	臨時	5			1			
7	8月24日	定例	5	7		1	2		
8	9月28日	定例	4	10		4	4		
9	10月26日	定例	5	8		3	2	1	
10	11月24日	定例	5	7		5	2	1	
11	12月22日	定例	5	9		2	4	1	
12	1月25日	定例	4	10		2	2	1	
13	2月14日	臨時	5			2			
14	2月22日	定例	5	9		1	3	1	
15	3月5日	臨時	4	1					
16	3月28日	定例	5	9	6	2	3	1	
合計			77	101	18	34	35	12	

## 2 点検・評価の対象と手法

### (1) 点検・評価の対象

点検・評価の運用については、令和5年2月1日付け文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課の事務連絡により、次のような考え方が示されました。

点検・評価の項目や報告書の書式、議会への報告方法等の点検・評価の具体的な方法については、各教育委員会が実情を踏まえて判断すべきものであること。そのため、各教育委員会においては、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、例えば、部局横断的な行政評価のなかで行うことや、地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項に規定する主要な施策の成果を説明する書類の作成、議会への提出及び公表を行うことをもって、教育行政の推進に資する点検及び評価を行うことができる場合には、法第26条第1項の義務を充足したとしても差し支えないこと。

上記の趣旨を踏まえ、本町においては、美里町教育振興基本計画（美里町教育大綱）（以下「基本計画」という。）、美里町総合計画・美里町総合戦略に（以下「総合計画」という。）に基づき、「美里町総合計画 実施計画書（事務事業の概要）」の成果として作成している「主要な施策の成果」に掲載している事務事業を点検・評価の対象としました。

### (2) 点検・評価の方法

教育委員会の事務局において、各事務事業の実施状況を確認し、「主要な施策の成果」の事務事業調書を作成しました。さらに満足度を指標としている事務事業については、満足度調査の結果について要因分析を行い、課題を抽出し、点検・評価を行いました。

これらについて、教育委員会で点検・評価を行い、報告書の案にまとめ、教育委員会評価委員会に意見を求めました。

教育委員会評価委員会の意見を報告書に追加し、最終的な協議を教育委員会の会議で行い、報告書を作成しました。

### (3) 学識経験を有する者の知見の活用

地教行法第26条第2項の規定により、点検・評価を行うに当たっては、教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされているため、美里町教育委員会評価委員会条例第2条の規定に基づき、教育委員会評

価委員会委員に意見をいただきました。

美里町教育委員会評価委員会委員名簿

No	氏名	経歴等
1	佐々木 勝 基	元小牛田小学校長
2	小 野 祐 哉	元南郷中学校PTA会長
3	葛 西 美智子	塾講師

(任期：令和5年6月1日から令和7年5月31日まで)

### 3 点検・評価

#### (1) 総合計画及び基本計画に掲げる政策、施策、事務事業について

教育委員会では、基本計画と計画内容が整合していると総合計画に掲げる2つの政策と5つの施策に基づき、71の事務事業を実施しています。

政策・施策		重点	施策の指標
政策1	教育の振興		
施策1	学校教育の充実	●	・満足度
施策2	多様な人材の育成		・満足度
施策3	生涯学習の充実		・満足度
政策2	教育環境の整備		
施策4	学びのセーフティネットの構築		・満足度
施策5	教育を振興するための基盤整備	●	・満足度

進行管理は、施策ごとに指標を設定し、計画期間の各年度において、その達成状況を測ることにより、総合計画の達成状況の評価及び検証を行い、課題を把握し、改善に努めることとしています。

教育委員会が行う点検・評価については、その対象を「主要な施策の成果」に掲載している事務事業としたことから、上記の進行管理と同様の考え方で実施することとします。

#### (2) 事務事業に係る主要な施策の成果の作成、点検・評価について

「主要な施策の成果」は、地方自治法第233条第5項の規定により決算を議会の認定に付するに当たって「主要な施策の成果を説明する書類」として作成するものです。また、主要な施策の成果は、マネジメントサイクル、いわゆるPDCAの「Check」の機能を持ち合わせており、次年度以降の「実施計画書」に反映させることも目的の一つとなります。

教育委員会では、所管する71の事務事業について主要な施策の成果を作成することにより、事務事業ごとの主な活動指標の実績値を確認し、計画値に対する達成度、事業内容の妥当性、有効性等を点検・評価しました。

##### 【実施状況】

「主要な施策の成果一覧表」及び「令和5年度一般会計・特別会計主要な施策の成果」参照

#### (3) 満足度調査の要因分析、点検・評価について

教育委員会では、政策、施策の進行管理を行うに当たり、主な事業の達成

度をそれぞれの事業に対する対象者の満足度を測ることによって、対象者の事業に対する評価がどうであるのかを把握し、また、どうしてそのような評価になるのかを考察するため、満足度調査の点検・評価をすることが必要であると考えました。

その内容は、主な事務事業のうち満足度を測定することが妥当であると考えられる事業について、毎年度、満足度調査を実施し、結果の要因分析、点検・評価を行うことにより、評価が低かった設問等から課題を捉え、改善に努めていくというものです。また、総合計画では、進行管理を行うに当たり、施策ごとに指標を設定することとしているため、施策ごとにそれに連なる事業の満足度の平均値を算出し、前年度の平均値より向上させることとしています。

満足度調査は、対象者や設問の内容により、結果が大きく変化するものであり、設定内容が重要です。満足度調査の内容が、それぞれの事業の課題を見出し、解決できるような内容になっているかが求められます。

これらを踏まえ、総合計画及び基本計画の教育に関する5つの施策に基づく35の事務事業について満足度調査を行い、施策ごとに平均値を算出し、結果の要因分析、点検・評価を行いました。

#### 【実施状況】

「満足度調査点検評価一覧表」参照

## 主要な施策の成果一覧表

No.	事務事業名称	令和5年度 決算額（円）	主な活動指標	満足度 （%）	施策の成果 ページ
1	教育委員会評価委員会運営	36,600	会議開催2回、答申・意見書1件	-	274
2	教育委員会運営	2,487,000	会議開催16回	-	275
3	就学時健康診断事業	485,190	就学予定者154人、受診率100%	-	276
4	学力向上事業	0	教職員研修実施7回	79.2	277
5	いじめ防止対策委員会運営	12,300	会議開催1回	-	278
6	外国語コミュニケーション能力 向上事業	17,857,163	ALT配置3人	91.7	279
7	小中学校情操教育推進事業	543,680	芸術鑑賞教室実施6校	91.8	280
8	奨学事業	8,074,013	奨学金貸付者数7人、新規2人	83.0	281
9	特別支援教育推進事業	89,500	巡回指導39回	83.6	282
10	いじめ防止、不登校対策等事業	3,186,137	SSW配置3人	70.0	283
11	心身障害児就学指導審議会運営	35,755	会議開催1回、答申・意見書1件	-	284
12	スクールバス事業	37,525,654	利用対象者1915人、運行台数10台	80.9	285
13	教科書採択事業	60,200	教科書展示会開催10日間	-	286
14	就学管理事業	973,700	指定校変更18件、区域外就学52件	-	287
15	子どもの安全・安心確保事業	906,507	緊急連絡システム12校、引渡訓練12回	69.7	288
16	小学校健康管理事業	8,472,870	児童健診受診1,101人、教職員健診受診77人	-	289
17	小牛田小学校施設管理	19,753,461	児童数166人	-	290
18	不動堂小学校施設管理	27,994,675	児童数473人	-	291
19	北浦小学校施設管理	18,286,315	児童数113人	-	292
20	中埜小学校施設管理	17,254,063	児童数94人	-	293
21	青生小学校施設管理	20,570,701	児童数73人	-	294
22	南郷小学校施設管理	13,135,883	児童数190人	-	295
23	小学校学力向上事業	13,304,592	学力向上支援員6人、総合学力調査6校	76.7	296
24	小学校ESD（環境教育）推進事業	2,587,200	環境教育出前授業6校、照明LED化3校	85.9	297
25	小学校就学援助及び特別支援教育 就学奨励事業	9,262,419	就学援助70世帯、特支奨励費18世帯	-	298
26	小学校学校生活支援事業	32,438,951	教員補助員23人	83.3	299
27	小学校教育振興事業	14,540,293	学校図書補助員6人	81.9	300
28	中学校健康管理事業	5,222,621	生徒健診受診562人、教職員健診受診44人	-	301
29	小牛田中学校施設管理	18,786,788	生徒数207人	-	302
30	不動堂中学校施設管理	19,708,840	生徒数244人	-	303
31	南郷中学校施設管理	18,252,588	生徒数111人	-	304
32	中学校学力向上事業	6,904,478	学力向上支援員3人、総合学力調査3校	57.8	305
33	中学校就学援助及び特別支援教育 就学奨励事業	9,835,316	就学援助53世帯、特支奨励費9世帯	-	306
34	中学校学校生活支援事業	4,493,318	教員補助員2人、特支支援員1人	66.7	307
35	中学校教育振興事業	8,676,310	学校図書補助員3人	66.7	308
36	中学校部活動支援事業	782,328	部活動指導員1人	77.8	309
37	新中学校整備推進事業	163,022,885	建築工事業務に着手	-	310
38	幼稚園事業	72,040,764	補助教諭6人、特支支援員15人	84.5	311
39	幼稚園健康管理事業	1,276,140	幼児健診受診262人	-	312
40	私立幼稚園等通園支援給付事業	33,191,485	施設型給付費6件、施設等給付費15人	-	313
41	預かり保育事業	25,423,670	預かり保育受入161人	87.1	314
42	こごた幼稚園施設管理	10,796,509	幼児数88人	-	315

## 主要な施策の成果一覧表

No.	事務事業名称	令和5年度 決算額 (円)	主な活動指標	満足度 (%)	施策の成果 ページ
43	ふどうどう幼稚園施設管理	9,520,733	幼児数145人	-	316
44	なんごう幼稚園施設管理	23,414,715	幼児数51人	-	317
45	幼稚園感染症対策事業	1,475,947	感染防止用品の整備	-	318
46	家庭教育支援事業	0	講座開催数2回、講座参加者数109人	100.0	319
47	社会教育委員設置事業	153,660	社会教育委員数5人	75.0	320
48	青少年育成事業	239,333	体験交流事業1回	100.0	321
49	青少年問題協議会運営	0	会議開催なし	-	322
50	文化財保存事業	92,225	指定文化財数5件	50.0	325
51	伝統芸能等保存継承推進事業	0	北浦小神楽教室実施回数20回	88.6	326
52	文化財活用事業	142,264	文化財学習講座実施1回、参加者65人	93.8	327
53	遺跡等維持管理事業	1,325,016	除草等業務実施8回	85.0	328
54	文化財保護委員会運営	0	会議開催なし	-	329
55	不動堂記念館施設管理	413,726	施設利用日数27日	-	330
56	郷土資料館運営事業	2,657,946	企画展実施回数3回	95.5	331
57	郷土資料館施設管理	2,220,675	延べ利用者数698人	-	332
58	図書館サービス事業	4,880,759	延べ利用者数29,514人	91.3	333
59	資料収集・保存整備事業	5,845,096	図書資料収集3,017点	86.2	334
60	近代文学館施設管理	7,925,395	開館日数271日	-	335
61	南郷図書館施設管理	216,207	開館日数274日、延べ利用者数6,877人	-	336
62	子ども読書推進事業	71,500	学校と連携した活動回数29回	99.0	337
63	近代文学館運営審議会運営	79,600	会議開催2回	-	338
64	町民ギャラリー事業	33,000	企画展9回	87.0	339
65	学校体育施設開放事業	408,119	延べ利用者数29,968人	100.0	345
66	南郷学校給食センター事業	43,695,576	給食提供人数405人	93.1	356
67	小学校給食事業	100,094,134	給食提供人数1,040人	92.8	357
68	中学校給食事業	64,345,288	給食提供人数499人	89.8	358
69	幼稚園給食事業	16,309,762	給食提供人数247人	86.5	359
70	学校給食運営審議会運営	23,000	会議開催2回、答申・意見書1件	-	360
71	南郷学校給食センター施設管理	9,401,376	施設利用日数217日、調理日数199日	-	361

## 満足度調査点検・評価一覧表

施策 1 学校教育の充実			R5満足度%	R4満足度%	前年度比
			80.7	79.0	1.7
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
1	学力向上事業	小、中学校	79.2	79.2	0.0
<p>【要因分析、点検評価】                      教育委員会に配置している学校教育支援専門員の指導、助言等に関する満足度調査を実施した。結果としては前年度と同様の満足度だったが、学校からは踏み込んだ内容の意見は得られなかった。事業の建付けとして教育委員会で取り組む内容が学校からは見えづらく、評価しにくかったものと考えられる。令和6年度からは事業を廃止し、小・中学校学力向上事業に統合した。令和6年度以降の学力向上に関する取組は教育委員会に配属された指導主事等が中心となって推進していく。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
2	小学校学力向上事業	小学校	76.7	64.4	12.3
<p>【要因分析、点検評価】                      学力向上支援員を配置した成果、委託して実施する総合学力調査の効果等について小学校を対象に満足度調査を実施した。学力向上支援員の配置については高い評価を得た一方、学校からは勤務時間の延長を要望する意見があった。現状の勤務時間では授業の進め方について教員と学力向上支援員が打合せをする時間が取れないという意見があり、今後検討を要する。総合学力調査については、前年度よりも満足度が上がったが、設問構成が教科書と合わないという意見があった。                      学校の意見を考慮しつつ、引き続き取組を継続していく。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
3	中学校学力向上事業	中学校	57.8	84.4	▲ 26.6
<p>【要因分析、点検評価】                      小学校と同様の設問で中学校を対象に調査を実施した。学力向上支援員に関する設問では前年度よりも満足度が下がっており、学力の向上や教員の多忙解消といった配置の効果を各教員が実感できていない状況となっている。次年度以降の学力向上支援員の配置の在り方については検討を要する結果となった。総合学力調査についても低い結果であった。小学校と同様の取組内容ではあったが、満足度に差が生じたため、学校からの意見を踏まえて実施内容を改善していく必要がある。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
4	小学校ESD（環境教育）推進事業	行事参加者	85.9	-	85.9
<p>【要因分析、点検評価】                      令和5年度から新たに開始した事業である。小学校で民間事業者による環境教育出前授業を実施し、受講した児童を対象に満足度調査を実施した。出前授業では普段は学校では使わないデジタル地球儀や太陽光発電設備を用いて授業を行ったことにより、児童の理解度は高い結果になった。一方で環境問題への関心、実践に関する設問については、比較的低い結果であった。環境問題に対する関心を高め、実践する意識を養うためには取組を継続していく必要がある。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
5	幼稚園事業	園児、保護者	84.5	87.8	▲ 3.3
<p>【要因分析、点検評価】                      幼稚園を利用している保護者を対象に、職員対応、保育環境、情報提供について調査を実施した。前年度と比べると下がってはいるが、引き続き高い満足度である。前年度同様おたよりの見づらさや職員の対応に不満を感じる保護者がいた。おたよりに関しては他市町村でも行っているメールでの配信を検討する。また、職員の保護者対応については、園長・所長会等で協議し、適切に対応できるようにする必要がある。</p>					

## 満足度調査点検・評価一覧表

No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
6	家庭教育支援事業	行事参加者	100.0	0.0	100.0
<p>【要因分析、点検評価】            家庭教育支援講座を開催し、受講者を対象に満足度調査を実施した。家庭教育支援への理解が深まったことで、高い評価を得たと考える。今後は、家庭教育支援ボランティアの人数の増加に取り組むとともに、家庭教育支援ボランティアが各種研修で得た学びやスキルを積極的に活用する機会を作っていくことが必要となる。また、関係機関と連携し、家庭教育支援を充実させていくこととした。</p>					

施策2 多様な人材の育成			R5満足度%	R4満足度%	前年度比
			91.8	95.5	▲ 3.7
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
7	外国語コミュニケーション能力向上事業	小、中学校	91.7	95.1	▲ 3.4
<p>【要因分析、点検評価】            ALT、ALTコーディネーターの配置の効果について学校を対象に満足度調査を調査を行った。満足度は前年度から若干下がったものの、全体的に非常に高い結果となった。ALTの配置が外国語学習に高い効果を発揮していると評価できる。効果があるゆえに配置日数を増やしてほしいという要望もあるため、各校のバランスを見ながら調整を行っていく。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
8	小中学校情操教育推進事業	行事参加者	91.8	95.8	▲ 4.0
<p>【要因分析、点検評価】            楽器演奏を織り交ぜた朗読劇を各校で実施し、参加した児童生徒及び教員を対象に満足度調査を実施した。回答の理由を自由記載する設問では「おもしろかった」という感想が多数を占めており、見たことのない楽器や演者の演じ分け、動きの軽快さなどは児童にとっては新鮮だったようである。朗読劇というあまりない形態の芸術に触れる良い機会になったと評価できる。小学校低学年の回答では時間が長かったという回答が比較的多かったため、今後対象学年や演目を選定する際の参考にしたい。</p>					

## 満足度調査点検・評価一覧表

施策3 生涯学習の充実			R5満足度%	R4満足度%	前年度比
			89.6	88.7	0.9
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
9	社会教育委員設置事業	社会教育委員	75.0	84.0	▲ 9.0
<p>【要因分析、点検評価】 社会教育委員を対象に各種事業の効果等について満足度調査を実施した。委員からは、社会教育を推進するための活動計画や協議の場を望む意見があり、全般的に取組が不十分であることが評価を下げた要因であると考えられる。令和6年度からは社会教育の推進に力を入れるため、専門的に取り組む社会教育主事を配置した。委員の意見を聞きつつ取組を充実させていく必要がある。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
10	青少年育成事業	行事参加者	100.0	98.2	1.8
<p>【要因分析、点検評価】 小学生低中学年向けの美里っ子体験塾参加者を対象に満足度調査を実施し、満足度は100%だった。体験活動をより充実させるため、開催場所を変更し、開催時間を延長したことが高い評価につながったものと考えられる。今後も高い満足度を維持できるよう、改善に取り組んでいく。参加者の評価が高かった一方で、定員を上回る応募があり、すべての参加希望者が参加できない状況となったため、定員や実施回数等については見直しを行っていく必要がある。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
11	文化財保存事業	文化財保護委員	50.0	50.0	0.0
<p>【要因分析、点検評価】 文化財の保存に関する各種事務事業について、文化財保護委員を対象に満足度調査を実施した。委員からは、事業内容を適切に評価するために情報提供をしてほしいとの要望がなされ、文化財の保存に係る業務の実態が見えづらい状況があると考えられる。今後は、情報提供方法の改善に取り組んでいく必要がある。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
12	伝統芸能等保存継承推進事業	行事参加者	88.6	100.0	▲ 11.4
<p>【要因分析、点検評価】 総合学習で神楽に取り組む北浦小学校3年生と北浦小学校神楽クラブ員に加え、神楽を上演・披露している北浦まつりの役員を対象に満足度調査を実施した。学校における児童に対する取組の満足度は高い状況である。地域のお祭りも再開され、地域住民の方々に披露することができている。今回は、行事参加者としてより広い範囲にアンケート調査を実施したところ、今後の継承については更なる取組が必要との声が聞かれた。地域と一体となって取組を進めていきたい。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
13	文化財活用事業	行事参加者	93.8	97.4	▲ 3.6
<p>【要因分析、点検評価】 文化財講座と出前講座の参加者を対象に満足度調査を実施した。文化財講座は、専門的な内容が含まれるため、若干内容が難しいとの声が聞かれた。出前講座は、自治会等の団体からの依頼に基づき、企画段階から依頼者と協力し、ニーズに合わせた講座内容を提供できていることから、高く評価されているものとする。今後も継続して、実施していきたい。</p>					

## 満足度調査点検・評価一覧表

No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
14	遺跡等維持管理事業	行政区長、管理団体等	85.0	81.8	3.2
<p>【要因分析、点検評価】 行政区長や管理団体などの地域住民と文化財講座の参加者を対象に満足度調査を実施した。遺跡等の維持管理を定期的実施したことで、概ね満足いただいたものと評価できる。毎年度意見をいただく除草回数追加については実現が難しいものの、大雨や強風など自然災害が懸念される際には、見回りや声かけなどを積極的に行うことで、地域住民との信頼関係を構築できていることが、満足度の向上に繋がったと考えられる。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
15	郷土資料館運営事業	行事参加者	95.5	96.9	▲ 1.4
<p>【要因分析、点検評価】 郷土資料館で実施する体験講座と学習講座の参加者を対象に満足度調査を実施した。参加者からの満足度は高いものの、講座実施後に「講座があったことを知らなかった」との意見が聞かれ、一層の周知活動が必要であると考えられる。また「もっと開催してほしい」との声も聞かれたことから、ニーズはあるものと考えている。今後も継続して講座等を実施することで、文化財の重要性の理解を促進していきたい。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
16	図書館サービス事業	来館者	91.3	92.7	▲ 1.4
<p>【要因分析、点検評価】 職員の対応や雰囲気等については、満足度が高まっている傾向にあり、図書館まつりなど参加体験型イベントの実施が効果的であったと考えられる。一方で、施設・設備が老朽化してきていることから、修繕等の意見が増えている。特に畳コーナーは、畳が痛み毛羽立ちが目立つことから、現在は井草カーペットを敷いている状況にあり、利用者からは「畳敷にしてほしい」という複数の意見があった。計画的な施設整備に取り組んでいく必要がある。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
17	資料収集・保存事業	来館者	86.2	87.6	▲ 1.4
<p>【要因分析、点検評価】 物価上昇により、本の価格も上昇している一方で、配当されている資料費は縮小されている実情から、選書の重要性がより高まっている。また、配当された資料費から、購入冊数を削減せざるを得ない状況であり幅広いジャンルの本の購入を考慮すると、以前は本を複本として購入し予約にも迅速に対応できていたが、対応が難しい状況であり、利用者へ資料が貸し出されるまで時間がかかる等の影響が出ている。自館で提供できない資料は、県内公共図書館の相互貸借を活用し、できる限り利用者への資料提供に努めていく。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
18	子ども読書推進事業	行事参加者	99.0	90.4	8.6
<p>【要因分析、点検評価】 新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことでその対応が緩和され、子どもたちや保護者がおはなし会等の事業に参加しやすくなった。本の展示特集やカウンターでの積極的な本の紹介を行うことで、子どもと本をつないでいる。また、各学校には学校図書館、学級への学期ごとの貸出し、授業で利用する本の貸出しの資料の支援協力と、朝読書の読み聞かせやブックトークの実施による人的支援協力を行っている。読み聞かせボランティア講座を行いスキルアップも行った。このような取組が評価されたものと考えられるため、今後も維持していきたい。</p>					

## 満足度調査点検・評価一覧表

No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
19	町民ギャラリー事業	来館者	87.0	87.5	▲ 0.5
<p>【要因分析、点検評価】                      来館者を対象に展示会の満足度調査を行った結果、前年度とほぼ同様の結果だった。各種展示会は概ね好評で、「また開催してほしい」「毎年開催してほしい」という意見が多かった。利用者のニーズに応えられるよう、取組を継続していきたい。一部の展示会では「作品の理解が難しい」という意見が寄せられた。展示会ごとに利用者の年齢層等を考慮し、作品の説明文をより見やすい形で掲示するなどの工夫をしていく必要がある。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
20	学校体育施設開放事業	利用団体	100.0	100.0	0.0
<p>【要因分析、点検評価】                      学校体育施設開放事業を利用する登録団体を対象に満足度調査を実施し、前年度同様、非常に高い評価を得た。学校体育施設の開放については高いニーズがあり、この事業が地域のスポーツ振興に大きな役割を果たしているものと評価できる。一方で、学校体育施設のトイレの不備、設備の故障や老朽化等に対し、修繕を求める意見もあった。児童生徒の教育活動だけでなく、学校開放事業の利用者にとっても利用しやすい施設環境を整備していく必要がある。</p>					

満足度調査点検・評価一覧表

施策4 学びのセーフティネットの構築			R5満足度%	R4満足度%	前年度比
			85.5	86.5	▲ 1.0
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
21	奨学事業	利用者	83.0	83.0	0.0
<p>【要因分析、点検評価】            奨学資金の内容について、奨学資金借受者を対象に満足度調査を実施した。概ね高い評価を得ており、全体の満足度も前年度と同等の結果となった。奨学資金募集時期を12月から実施して欲しいという意見が多くあげられた。今後は募集始期を早められるよう検討していく。また、多くの町民に対し奨学資金募集の情報を周知していく必要があるため、今後も取組を継続していく。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
22	特別支援教育推進事業	小・中学校	83.6	88.9	▲ 5.3
<p>【要因分析、点検評価】            特別支援教育に係る学校教育支援専門員の指導、助言、研修会の効果等について各学校を対象に満足度調査を実施した。研修事業については、概ね高い評価を得ており、教員、教員補助員、特別支援教育支援員の研鑽を高めるためにも今後も継続して事業を実施していく必要がある。また、各種会議における情報交換の場の設定について複数の意見があげられた。今後は、会議後すぐに解散するのではなく、会議の時間の中で情報交換の時間を設定できるよう調整していく。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
23	いじめ防止、不登校対策等事業	小・中学校	70.0	75.0	▲ 5.0
<p>【要因分析、点検評価】            スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置の効果、はなみずき教室の支援内容等について各学校を対象に満足度調査を実施した。全体的に小学校におけるSSWの活用について連携が不十分であるという意見が挙げられた。小学校におけるSSWの活用については前年度よりは改善しているものの、中学校に在る時間が長いこともあり小学校の様子を把握することは難しい。小学校に対してさらに積極的にSSWを活用する旨を周知していく必要がある。また、勤務時間についても柔軟に対応が可能であるため、各校で効果的に活用してもらえよう取組を継続していく。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
24	南郷学校給食センター事業	園児、児童生徒、職員	93.1	90.8	2.3
<p>【要因分析、点検評価】            前年度と比較して、給食の味について「おいしい」の回答比率が前年度と比較して大きく上昇しており、満足度についても「満足」「どちらかといえば満足」の回答比率も上昇した。満足と選んだ理由についてのアンケートでは「味付けがよい」が前年と比較して上昇しており、他の給食施設と比較して幼稚園児から中学生まで幅広い年齢に対応するメニューや味付けを検討した結果と思われる。今後も必要な栄養素等を考慮しながら、児童、生徒に好まれる調理法、味付け等の検討を続けたい。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
25	小学校給食事業	児童	92.8	93.4	▲ 0.6
<p>【要因分析、点検評価】            前年度から若干満足度が下がったものの、給食の味等について、9割以上の児童から「満足」「どちらかといえば満足」との回答を得た。児童に好まれる献立を提供したことが高い評価につながったものと考えられる。給食を残す理由としては「嫌いな食べ物が出る」の割合が高かったことから、苦手とされる食材について調理方法等の検討を行うため、栄養士会で情報共有し、改善を図っていく。</p>					

## 満足度調査点検・評価一覧表

No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
26	中学校給食事業	生徒	89.8	92.8	▲ 3.0
<p>【要因分析、点検評価】            小学校と同じく9割の生徒から「満足」「どちらかといえば満足」との回答を得たが、「どちらかといえばおいしい」「どちらかといえば満足」の比率が比較的高いことから、評価を下げることとなった。肯定的な評価をさらにもう一段階上げることが課題となる。給食を残す理由としては小学校と比較して「量が多い」の割合が高かった。適正な栄養価を維持しつつ、対応策を検討していくこととする。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
27	幼稚園給食事業	園児、職員	86.5	81.4	5.1
<p>【要因分析、点検評価】            前年度と比較して、給食の味について「おいしい」の比率が大きく伸びているほか、「給食を残さず食べる」「好きな食べ物が出る」「味付けがよい」の比率も同様に伸びていることから、園児の好みに合致するメニューや味付けがされた給食が増えたものと考えられる。また、満足度調査の結果から園児が苦手とする食材として野菜が多く挙げられたが、栄養摂取バランスの観点から野菜は必要不可欠であることから、園児が満足して食べることができる味付け、調理法などの検討を続ける。</p>					

## 満足度調査点検・評価一覧表

施策5 教育を振興するための基盤整備			R5満足度%	R4満足度%	前年度比
			76.8	79.5	▲ 2.7
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
28	スクールバス事業	学校、保護者	80.9	79.7	1.2
<p>【要因分析、点検評価】</p> <p>バス担当教諭とバス利用の保護者を対象に満足度調査を実施した。満足度は概ね前年度と同様であり、滞りなく事業を実施できていると評価できる。一方でバス運転手の年齢や態度などに対して、一部の保護者からは不安の声が寄せられた。安心してバスを利用してもらえるよう、年3回開催しているバス運転手の研修のほか、目的別の適性診断を実施することにより、運転手の資質の向上を図っていききたい。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
29	子どもの安全安心確保事業	児童生徒、保護者	69.7	68.7	1.0
<p>【要因分析、点検評価】</p> <p>安全対策についての評価は満足・ある程度満足という意見が半数以上であった。令和5年度は、防犯カメラや非常通報装置を追加設置したが、その効果については翌年度以降の評価になる。自転車通学用ヘルメットの購入費補助金については、半数以上が概ね満足している一方で、補助金の対象外となる生徒もいるため、評価が分かれた。現状は中学校進学にあわせての補助であるが、自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務化された状況を踏まえ、実施時期は検討の余地があり、より効果的なタイミングを探っていききたい。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
30	小学校学校生活支援事業	小学校	83.3	83.3	0.0
<p>【要因分析、点検評価】</p> <p>教員補助員の配置に関する満足度調査を学校を対象に実施した。前年度に引き続き教員補助員の増員や勤務時間の延長を求める意見が多く、学校での必要度はかなり高い。可能な限り配置を検討しているが、支援対象となる児童生徒の全児童生徒数に対する割合が多くなっており、教員補助員のみでは対応しきれないことが懸念される。教員の負担を減らすことはもちろんであるが、教員補助員の負担が大幅に増大することのないよう、経過を注意深く見ていく必要がある。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
31	小学校教育振興事業	小学校	81.9	70.8	11.1
<p>【要因分析、点検評価】</p> <p>学校図書司書補の配置、消耗品、備品等の購入に関する満足度調査を学校を対象に実施した。前年度に引き続き、学校図書司書補の配置に関する評価は高い一方で、消耗品や備品購入に関して「満足している」の回答が1校しかなく、予算配当額に満足していない結果となっている。必要なものを確実に購入できるよう努めていく。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
32	中学校学校生活支援事業	中学校	66.7	87.5	▲ 20.8
<p>【要因分析、点検評価】</p> <p>教員補助員、特別支援教育支援員の配置に関する満足度調査を学校を対象に実施した。小学校に比べて満足度が低い結果となった。小学校では教員補助員を各校複数人配置しているが、中学校では各校1人ずつしか配置していないことが影響しているものと考えられる。特別支援学級の生徒が普通学級で授業を受ける際の支援体制については検討していく必要がある。</p>					

## 満足度調査点検・評価一覧表

No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
33	中学校教育振興事業	中学校	66.7	86.1	▲ 19.4
<p>【要因分析、点検評価】                      小学校と同様の調査を行った。学校図書司書補の配置に関する評価は、小学校と同じく高い。消耗品や備品購入に関する項目については、中学校の統合にあわせて備品を整備することとしたものもあり、小学校よりも満足度が低い結果となった。美里中学校における必要経費の算出については、学校の意見を聞きつつ、精査していく必要がある。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
34	中学校部活動支援事業	中学校	77.8	70.5	7.3
<p>【要因分析、点検評価】                      大会参加費の補助、部活動指導員の配置等について満足度調査を実施した。全体として満足度は前年度よりも高い結果となった。現在、部活動指導員を配置しているのが南郷中学校陸上競技のみであるため、今後、増員を図っていききたい。部活動の地域移行とあわせて部活動指導に係る教員の負担軽減のための施策を検討していく。</p>					
No.	事業名	アンケート対象者	R5満足度%	R4満足度%	前年度比
35	預かり保育事業	保護者	87.1	89.2	▲ 2.1
<p>【要因分析、点検評価】                      町内幼稚園の預かり保育を利用している保護者を対象に満足度調査を実施した。前年度よりも満足度は下がったが、高い水準を維持している。全体を通して保護者からは感謝の意を伝える回答が多く、事業に対するニーズは高いものと評価できる。一方で、前年度同様、情報提供に不満がある保護者が一定数いるため、幼稚園事業と同様にメールでのおたよりの配布を検討していく必要がある。</p>					

#### 4 点検・評価に対する教育委員会評価委員会からの意見

令和6年度第1回美里町教育委員会評価委員会

日時：令和6年8月9日（金）午後2時～午後3時55分

場所：美里町南郷庁舎2階庁議室

##### (1) 点検・評価の対象と方法について

点検・評価の対象の見直しを行い、主要な施策の成果の事務事業を対象としたことは妥当であると考えます。主要な施策の成果の事務事業調書は、決算認定のために作成される資料ではあるが、事業ごとに必要な項目が整理され、教育委員会が行う点検・評価にも活用できるものであると考えられる。また、満足度調査の要因分析により点検・評価すべき事項が明確化され、評価委員会としても具体的な内容について意見が出しやすくなったと評価できる。

##### (2) 委員からの個別意見

###### 【施策の成果について】

- ・青少年問題協議会運営事業及び文化財保護委員会運営事業は、計画では会議開催が予定されていたが、結果として会議が開催されなかった。事情があるとは思いますが、会議を開催し、町民、関係者等から意見を聴取し、町の施策に反映させるのが望ましいと考える。
- ・一部の事務事業の活動指標については、計画値通りになるのが当然で、記載する意義が乏しいと思われるものがある。指標の設定の在り方については検討の余地があるのではないかと。

###### 【満足度調査について】

- ・課題や意見があるにもかかわらず、満足度が100%になっている事業については若干違和感がある。アンケート調査の対象者や設問の内容については検討の余地があるのではないかと。PDCAサイクルを回すためには、満足度の向上を目指すだけでなく、課題を抽出する意識を持って満足度調査を実施するのがよいと思われる。
- ・住民参加型の各種事業については、参加者の満足度だけでなく、対象者の事業の認知度も検証した方がよいのではないかと。事業を知らなかったという方も一定数いると思われるので周知や募集の方法の改善に役立てられるのではないかと。
- ・満足度が低かった、又は前年度から下がった事業については、それぞれ改善に向けて取り組んでいく等の記載が見受けられるが、さらに踏み込んで具体的な改善策を提示できればなおよかったと思われる。

### (3) 総合的な意見

点検・評価の対象を主要な施策の成果の事務事業としたことにより、報告書全体がシンプルで分かりやすいものになったと評価できる。住民に対する説明責任を果たすことが点検・評価の趣旨の一つであるため、読み手にとって分かりやすい内容とすることは重要であると考えます。

点検・評価の結果については、満足度調査の要因分析により、概ね課題が明確化されているものと評価できる。課題が明らかになった事業については、アンケートの意見を参考に改善に取り組んでいただきたい。課題を捉えきれなかった事業については、委員の個別意見にもあるようにアンケートの設問等を見直しを検討いただきたい。

点検・評価の対象と手法を見直したことは、事務改善や分かりやすきの向上という点では効果的であったと考えられるが、予算が伴わない事務の点検・評価については検討の余地がある。基本計画・総合計画に基づく事務事業の多くは予算が伴うものであるため、これらを点検・評価の対象とすると、予算が伴わない事務の点検・評価が見えなくなってしまうことが懸念される。すべての事務を網羅的に点検・評価することは困難であるため、事務負担とのバランスをとりつつ、点検・評価がより効果的なものとなるよう改善に向けて検討いただきたい。

## おわりに

令和6年度の点検・評価（対象年度：令和5年度）は、文部科学省の点検・評価に対する見解を踏まえ、従来のものから点検・評価の対象と方法を見直して実施しました。

「主要な施策の成果」に掲載している事務事業を点検・評価の対象とすることで、教育委員会が管理・執行する事務が、基本計画と整合した総合計画に掲げる政策及び施策のどの部分に位置付けられるものか、より明確にするよう努めました。また、総合計画に基づく施策の進行管理と点検・評価を一体的に行うことにより、双方がより効率的かつ効果的なものになるよう努めました。さらに点検・評価の対象を絞ることにより、点検・評価報告書が簡潔・明瞭なものとなり、教育委員会が説明責任を果たすべき相手方である町民の皆様にとってもより分かりやすいものになったのではないかと考えております。

点検・評価の手法については、事務事業の満足度の要因分析、点検・評価に力を入れることにより、事務事業ごとの課題を明確にするよう努めました。事業の満足度を数値化することにより、事務事業の達成度を客観的な指標で測定することができると思います。また、満足度アンケートの自由記載欄等の個別意見からは、事務事業の対象者の生の声を拾い上げることができ、次年度の改善につながるのではないかと考えます。

満足度の調査の要因分析、点検・評価を行った結果、取組内容を維持しつつ質を向上させるべきもの、取組内容に課題があるため見直す必要があるもの、課題や効果的な改善策の明確化に至らなかったものを確認することができました。これらのうち、実行可能な改善策については、早期に実施してまいります。課題が捉えきれなかったものについては、満足度調査の設問を見直すなどの工夫を図ってまいります。

点検・評価は、教育委員会が執行する事務の課題を明確化し、改善していくために重要なものであります。次年度に向けた改善策を検討するに当たり、今回、点検・評価の対象と手法を大きく見直したことの効果について検証し、点検・評価がさらに有効で実効性のあるものとなるよう改善に努めてまいります。